

動物実験に関する自己点検・評価報告書

名古屋大学

令和元年8月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 平成19年3月12日 規程第71号 (改正：平成19年3月28日 規程第106号, 平成20年3月31日 規程第117号, 平成22年3月16日 規程第43号, 平成24年3月21日 規程第89号, 平成25年6月18日 規程第10号, 平成26年3月26日 規程第125号, 平成29年3月7日 規程第107号, 平成29年3月30日 規程第136号, 平成30年2月20日規程第99号)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」(環境省告示)と「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針」(文部科学省告示)に基づき機関内規程が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程</p> <p>・全学動物実験委員会名簿 (別紙1)</p> <p>・各部局の動物実験委員会規程</p> <p>・各部局の動物実験委員会名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)</p> <p>全学動物実験委員会及び部局動物実験委員会が設置され、適正に運営されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない</p>

3. 動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程（動物実験計画書等の様式を含む） ・各部局の動物実験委員会規程
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない</p>

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。</p> <p><input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 ・名古屋大学組換え DNA 実験規程 ・名古屋大学病原体等安全管理規程 ・名古屋大学安全衛生管理規程 ・名古屋大学化学物質等安全管理規程 ・名古屋大学放射線安全管理規程 ・医学系研究科実験動物部門利用の手引き
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない</p>

5. 実験動物の飼養保管の体制

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p>

<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程（施設の設置申請書等の様式を含む） ・各部局の動物実験委員会規程 ・各部局の飼養保管施設リスト
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 各部局委員会が飼養保管施設とその実験動物管理者を把握できる体制となっている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

該当しない

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

1) 評価結果 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学動物実験委員会議事録 会議開催：1回（平成30年8月2日） 書面審議：0回 ・各部局の動物実験委員会議事録 会議開催：11回（7部局） 書面審議：70回（7部局） ・平成30年度の名古屋大学における動物実験計画書の審査状況と特に注意を要する動物実験の実施状況（別紙2）
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程に基づき適正な委員会活動を実施している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

2. 動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局委員会から提出された動物実験計画書の審査状況や実施状況の把握に関する資料 ・動物実験結果報告書
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない。</p>

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局委員会から提出された安全管理上注意を要する動物実験計画の実施状況に関する資料 ・医学系研究科実験動物部門特殊実験室利用申込書 ・平成30年度の名古屋大学における動物実験計画書の審査状況と特に注意を要する動物実験の実施状況（別紙2）
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>該当しない</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各飼養保管施設の飼養保管マニュアル

・各部局委員会から提出された飼養保管数に関する資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養動物数の大半を占めるマウス・ラットなど齧歯類の実験動物に加え、鳥類や大型哺乳類の飼養保管マニュアルも作成し、全ての施設について飼養保管マニュアルを整備している。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・各部局委員会から提出された飼養保管施設の設置承認状況に関する資料 ・各部局委員会から提出された動物実験室の設置承認状況に関する資料
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 飼養保管施設（総数10部局85箇所）や動物実験室は各部局の動物実験委員会により適正に審査承認されている。各部局委員会は承認後3～5年を目処として各施設等の設置状況を確認し、適正な維持管理に努めている。また、平成25年7月に発足した東山キャンパスの名古屋大学動物実験支援センターは順調に稼働している。一方、鶴舞地区の老朽化した動物実験施設については、令和元年度から4カ年計画かけて増改修計画が実施される事になった。
4) 改善の方針、達成予定時期 飼養保管施設の補修や改善の必要性について、今後も継続的に調査を行う。

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学動物実験講習会実施状況 講習会実施回数：29回 (4/13,4/17,4/25,5/9,5/21,5/23,6/4,6/26,7/13,7/25,9/5,9/6,10/1,10/2,10/10,10/16,10/30,11/7,11/13,12/11,12/19,1/9,1/23,2/13,3/11,3/12,3/18 ※4/25については別キャンパスで各々実施) 講習会受講者数：477名 ・名古屋大学動物実験講習会資料

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練が適正に実施されている。 講習会実施担当者は日本実験動物学会が主催する実験動物管理者等研修会を受講して 専門知識の習得をしている。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋大学動物実験委員会のホームページ (http://web-honbu.jimu.nagoya-u.ac.jp/kenkyushien/doubutujikken/) において、動物実験に関する自己点検・評価報告書をはじめとする動物実験に関する各種 情報を公開している。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験に関するより積極的な情報公開を行う事を目的として、平成27年度より名古屋大学 動物実験委員会のホームページを新設し、そこで項目ごとに情報を整理して公開している。なお、 平成30年度の動物実験に関する自己点検・評価結果を本報告書にまとめ、令和元年8月を目処 に名古屋大学のホームページで公開する予定である。
4) 改善の方針、達成予定時期 該当しない

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

1) 名古屋大学動物実験委員会の構成（別紙1） 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 第8条第1号に掲げる委員：教授8名，准教授6名，講師1名 第8条第2号に掲げる委員：教授1名 第8条第3号に掲げる委員：准教授1名
2) 各部局の動物実験委員会の構成 名古屋大学における動物実験等に関する取扱規程 第16条による部局委員会総数： 9 委員総数：55名（教授24名，准教授17名（うち特任准教授1名），講師4名，

助教9名，技師1名)

- 3) 平成30年度の名古屋大学における動物実験計画書の審査状況と特に注意を要する動物実験の実施状況 (別紙2)
- 4) 平成30年度の名古屋大学における実験動物種毎の飼養保管数 (別紙3)

動物実験委員会委員名簿

平成 30 年 4 月 1 日現在
(任期：H29. 4. 1～H31. 3. 31)

部 局 名	職 名	役割 (※)	専門分野	備考 (規程)
法 学 研 究 科	教 授	3	法哲学	2 号委員
情 報 学 研 究 科	准教授	1	実験心理学	1 号委員
理 学 研 究 科	教 授	1	分子生物学	1 号委員
医 学 系 研 究 科 (鶴舞地区)	教 授	1	神経遺伝情報学	1 号委員
〃	准教授	2	実験動物学	3 号委員
医 学 系 研 究 科 (大幸地区)	准教授	1	理学療法学	1 号委員
工 学 研 究 科	教 授	1	生物化学工学	1 号委員
生 命 農 学 研 究 科	教 授	1	形態形成学	1 号委員
環 境 学 研 究 科	准教授	1	環境社会学	1 号委員
創 薬 科 学 研 究 科	准教授	1	細胞薬効解析学	1 号委員
環 境 医 学 研 究 所	准教授	1	内分泌学	1 号委員
医 学 部 附 属 病 院	教 授	1	内分泌学	1 号委員
アイソトープ総合センター	講 師	1	構造生物学	1 号委員
生物機能開発利用研究センター	准教授	1	機能生物化学	1 号委員
細胞生理学研究センター	教 授	1	生物物理学	1 号委員
動物実験支援センター	教 授	2	実験動物学	1 号委員
総合保健体育科学センター	教 授	1	応用健康科学	1 号委員

※役割とは、文部科学省の指針に示された以下のことを示す。

1. 動物実験等に関して優れた識見を有する者
2. 実験動物に関して優れた識見を有する者
3. その他の学識経験を有する者

部局	動物実験計画書					注意を要する動物実験計画	
	申請	承認	新規	継続	終了中止#	組換え	その他*
情報学研究科	2	2	1	1	1	0	0
理学研究科	14	14	5	9	7	7	0
医学系研究科	470	470	73	397	183	263	26
医学部保健学科	40	40	10	30	7	11	0
工学研究科	10	10	2	8	1	6	0
生命農学研究科	106	106	21	85	40	18	0
環境学研究科	8	8	7	1	8	0	0
創薬科学研究科	5	5	0	5	0	2	0
環境医学研究所	41	41	2	39	12	21	0
総合保健体育科学センター	3	3	0	3	1	0	0
動物実験支援センター	2	2	0	2	0	2	0
トランスフォーマティブ生命分子研究所	2	2	1	1	1	2	0
全体	703	703	122	581	261	332	26

終了中止届が提出された全計画書について結果報告書の提出を確認

* P2A実験、ABSL2の感染実験、毒性、発癌実験等

平成30年度の名古屋大学における実験動物種毎の飼養保管数(単位:匹×日)

別紙3

分類	動物種	情報学	理学	医学	医学(大幸)	工学	農学	創薬	環境医学	保体セ	動物セ	合計	
哺乳類	マウス	924	34,950	8,984,959	325,044	803	1,043,019	36,535	965,768	1,728	1,422,957	12,957,822	
	ラット	11,316	0	282,968	11,286	235	123,590	132	16,682	2,453	65,657	514,319	
	ハムスター	0	0	0	0	0	140,278	0	0	0	0	140,278	
	モルモット	0	0	533	0	0	0	0	0	0	0	533	
	モモンガ	0	0	0	0	0	3,285	0	0	0	0	3,285	
	スンクス	0	0	0	0	0	3,285	0	0	0	0	3,285	
	ウサギ	0	0	21,606	489	18	782	0	3,115	0	0	26,010	
	イヌ	0	0	8,785	0	0	0	0	0	0	0	8,785	
	マーモセット	0	0	3,007	0	0	0	0	2,190	0	0	5,197	
	ブタ	0	0	54	0	0	0	0	0	0	0	54	
	ヤギ	0	0	0	0	0	32,120	0	0	0	0	32,120	
	ウシ	0	0	0	0	0	13,140	0	0	0	0	13,140	
	鳥類	ニワトリ	0	0	0	0	12,739	360,788	0	0	0	0	373,527
		ニワトリ(ヒヨコ)	0	0	4,160	0	0	0	0	0	0	0	4,160
ウズラ		0	0	0	0	0	781,220	0	0	0	0	781,220	
キンカチョウ		0	0	0	0	0	21,900	0	0	0	0	21,900	
両生類	イモリ	0	0	0	0	0	2,555	0	0	0	0	2,555	
	カエル	0	0	230	0	0	7,616	0	0	0	0	7,846	
合計		12,240	34,950	9,306,302	336,819	13,795	2,533,578	36,667	987,755	4,181	1,488,614	14,896,036	